

～花を贈る～ありがとうの気持ちを伝えるフラワーアレンジ

～お世話になった先生や先輩に花を贈る～

作成者：株式会社フローレ21 高杉 揚子

- 対象者・人数：小学生 20～30人
- 所要時間：1時間（60分）～2時間（120分）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名・スタッフ1～2名
- 対象場所：学校・イベント・児童センター（参加人数によって所要時間とスタッフの人数を増減させる）



■ 資材

- ・紙の器・紙コップ等
- ・花を並べるバケツ
- ・型押しパンチ
- ・色画用紙
- ・吸水性スポンジ（花器の大きさに合わせてカットする）
- ・スポンジ用のバケツ
- ・切花用のハサミ
- ・のり、または両面テープ



紙コップ・紙の器



吸水性スポンジ



切花用ハサミ



色画用紙



型押しパンチ

■ 花材

季節の花を使うことにより、春夏秋冬とオールシーズン対応できる。

- ・一人、5～6本ぐらい選べる本数・種類を用意する。
- ・事前に水揚げをして、花を元気な状態にする。

※季節の花

- ・春＝チューリップ・スイートピー・マーガレット・ガーベラ・カーネーション など
- ・夏＝ヒマワリ・アワ・クルクマ など
- ・秋＝ケイトウ・リンドウ・ワレモコウ・オミナエシ など
- ・冬＝ヒバ・サンキライ・松かさ・など



ガーベラ



ヒペリカム



スプレーバラ



マルバリスカス

【指導内容と目的】

- ・花を通して、植物との関わりを考える＝植物は人間にとって必要な物なのか？生活の中でどんな時に花が必要になるかなどを考えてみる。
- ・贈る方のイメージや相手が喜ぶ顔を想像しながらアレンジをする。
- ・サンプルを用意せず、花を自由に選び、自由にアレンジを行う。
- ・花に触れ、花を贈る楽しさ・喜びを感じてもらう。

【対象者への配慮】

- ・メッセージを紙の器に直接書いたり、カードを付けるなど工夫するとよい。
- ・花を切る時はなるべく切花用のハサミを使用する。
工作用のハサミだと、切りにくく、茎がつぶれてしまう事がある。
切花用のハサミを使う前に、必ず、切り方について説明すること。
- ・花の紹介・説明をする際、子ども達に分かりやすい言葉を選び、興味を持ってくれるような話し方・説明（特徴・名前の由来・産地・花びらの形など）をすると良い。
高学年には、「花言葉」や「カラーセラピー」などを取り入れ、興味を持ってもらう。
花の特徴を知ってもらうため、紹介した花を全員に回覧して、花の香り・感触を確かめてもらう。

① 当日の流れ

時 間 (所要時間) 1時間～2時間 (年齢によって異なる)

手 順

器の作成 → 花の説明 → 花選び → アレンジ → 片付け → 感想・発表

※ 事前に紙をパンチで型抜きするなどして、いろいろな材料を用意しておくこと、進めやすい。

指導ポイント

作成した器 (メッセージを書き、パンチで型抜きした紙などを貼りつける) にアレンジを行うので、贈る方のイメージや自分の気持ちをアレンジに表すように話す。

また、花を贈る楽しさや、喜びを感じてもらおうようにする。

② 時間配分

20分	① 植物・花について考える 植物と人間との関わりや、花をどんな時に必要とするかなどを考え、発表してもらう。
20分	② 器の工作 メッセージを書く。パンチで形を抜いた物を貼りつける。
1分	③ 吸水性スポンジをバケツに入れる。
10分	④ 花の種類についての説明 子供たちに香り・感触を楽しんでもらうように、全員に回す。
10分	⑤ 花選び 花選びの順番待ちをしている人は、吸水性スポンジを花器に入れ準備する。
10分～15分	⑥ アレンジ開始
5分	⑦ 片付け
5分	⑧ 「花レシピ」に選んだ花の名前を記入
5分	⑨ アレンジ発表・感想

③ フレームワーク

① 準備

- ・ 花を挿す吸水性スポンジを用意。
(園芸店、生花店、ホームセンターで購入できる)
花器の大きさに合わせて、吸水性スポンジを切っておく。
- ・ バケツに水を入れて、花材を並べる。
- ・ 当日使用する花の名前カードを用意 (産地名を記入するのも良い)
- ・ 花の名前カード
※ 幼児・小学生低学年の場合、バケツに貼り付ける花の名前はひらがなやカタカナで書く。



- ・ 資材 紙の器や紙コップ用意
- ・ 画用紙・パンチ・のり・両面テープを用意
- ・ 事前にパンチでいろいろな形を抜いておくこと進めやすい
- ・ 切花用ハサミの用意



② 挨拶

今日のテーマの説明。

③ 植物・花について考える

植物と人間との関わりや、花をどんな時に必要とするかなどを考え、発表してもらう。



④ 器を作る

贈る方へのメッセージを書く。
パンチでいろいろな形に抜いた、画用紙を貼る。

⑤ 吸水性スポンジを水に浸ける (水を入れたバケツを用意)

- ・ ①の準備時には吸水性スポンジは配らない。(子どもが触って、穴をあけたりするので)
- ・ 吸水性スポンジの説明 (花をアレンジする時に使用する物・強く握ると崩れてしまうなど)
- ・ 吸水性スポンジを配る。
- ・ バケツに吸水性スポンジを入れる。
(水に入れる時の注意・説明)
(水の中に入れる際、上からポトンと落とすだけ。上からギュッと押ししてしまうと、吸水性スポンジの中に空気が入ってしまい、水がしみ込まなくなってしまうなど説明する)
- ・ 水をしみ込ませている間、花の説明を行なう。



- ⑥ 花の名前・特徴を紹介(産地・名前の由来・花びらの形など)
花の名前は事前にバケツに貼り付けるのではなく、「この花の名前を知っている人！」などと、子ども達に質問して答えてもらい、その後、花の名前・特徴・花言葉について話しながら、バケツに名前を貼り付けるようにする。
「花言葉」や「カラーセラピー」等を取り入れ、興味を持ってもらう。



花の特徴を知ってもらうため、紹介した花を全員に渡して、花の香り・感触を必ず確かめてもらう。

⑦ 花を選ぶ

選ぶ本数を決めて、子ども達に好きな花を選んでもらう。
その際、花の取扱について説明する。
(どんな事をしたら花は折れてしまうか。花の性質、さらに花の気持ちを考えてもらう。)



⑧ 全員花を選んだら、吸水性スポンジを花器に入れる。

⑨ 花の切り方を説明

- ・普段使用している工作用のハサミより、「良く切れる」という事を説明
- ・右利きと左利きにと分けて説明。
- ・花の置き方・向きを説明。
(右利きの場合、花の顔(咲いている方)を左向き横にして置くと、持ちやすく切りやすい。
左利きの場合、右利きと逆に置く)
- ・子ども達と同じ向きになり、花(茎)を持って、どうやってハサミで切るかを見せる。



右利きの場合、左手で花を、右手にハサミを持つ。(左利きの場合は逆になる)



ハサミは、花を持っている手と反対側に向けて切ると安全。

⑩ 花の挿し方・アレンジの仕方を説明

- ・花器に対しての長さを教える。(どの位の長さで切るか)
- ・吸水性スポンジの挿し方

茎をしっかり持ち、中心に向かって2cmぐらい挿す。
何度も挿し直していると、穴だらけになってくずれやすくなるので注意する。



- ・吸水性スポンジに挿す部分の葉は取る。(なぜ取るかを説明)
葉が水につかっていると、水がにごったり腐りやすくなる。

⑪ アレンジ開始

⑧～⑨の事に気をつけながら、自由にアレンジを楽しんでもらう。
なるべく、アレンジに対して、注意や意見は控える。
注意することは、⑨～⑩のみ。これ以上注意してしまうと、子ども達のやる気をなくしてしまうので温かく見守ること。

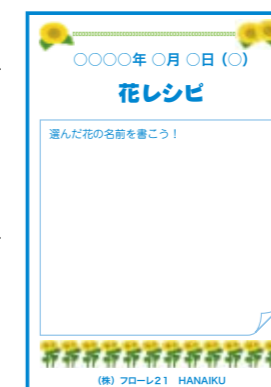


⑫ 片付け

アレンジが終わった子ども達から、机の上、床のゴミを片付ける。
ゴミ箱に捨てる時は、茎をなるべく短くして捨てることを教える。
(ゴミ袋から茎が飛び出て、ケガをしたりすることがある。)
茎を短くする際、ハサミで切る場合は注意が必要。また、ハサミを持って、ゴミ箱まで来る子がいるので、ハサミを持ち歩かないよう注意する。

⑬ 「花レシピ」を記入

自分で選んだ花の名前を記入してもらう。
花の名前を覚えてもらうため、また、家に帰って家族と花の名前などについて話せるように。



⑭ 発表・感想

アレンジの発表、感想を聞いてみる。
 「今日、好きになった花は？」
 「どんなイメージで作ったの」
 「どこに飾る？」など、感想も聞いてみる。



⑮ 終わり

- ・ 終わりの挨拶。
花が咲く楽しみ、水を足す方法などを説明。
- ・ 皆で拍手をして終了。

参考：花レシピカード (A6 サイズ)

